

平成29年度事業報告

月日	内容
4月4日	○第1回協議会 ・阿賀町地域公共交通活性化協議会規約（案）等について ・平成29年度歳入歳出予算（案）について ・平成29年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（計画策定事業））交付申請（案）について
7月3日	○第2回協議会 ・計画策定のスケジュール（案） ・アンケート調査実施概要（案）について ・阿賀町バス（阿賀～新潟間高速バス）について ・補正予算案について
7月14日～8月4日	○利用者アンケートの実施 ・公共交通の利用状況や問題点・改善要望を把握した ※実際に公共交通を利用している人の意見の把握
8月3日～8月10日	○住民アンケートの実施 ・全世帯を対象に、外出の有無や外出目的別の目的地など行動範囲を把握するとともに、その移動手段としての公共交通の利用状況や問題点・改善要望を把握した
10月2日	○阿賀町バス（阿賀～新潟間高速バス）本格運行開始 ・「新潟中央病院前」バス停留所新設 ・1日2往復から1往復に運行内容変更
10月31日	○第3回協議会 ・地域公共交通網形成計画（骨子案）の確認
12月26日	○第4回協議会 ・地域公共交通網形成計画（素案）の確認
1月19日～1月26日	○第1回書面協議 ・地域公共交通網形成計画（修正案）の確認
2月1日～2月9日	○第2回書面協議 ・地域公共交通網形成計画（修正案）の確認
2月15日～2月28日	○パブリックコメントの実施 ・意見提出者数7名 意見提出件数18件
3月19日	○第5回協議会 ・地域公共交通網形成計画の策定
3月30日	○地域公共交通網形成計画の公表 ・町ホームページにて公表

阿賀町地域公共交通網形成計画

< 概要版 >

平成30年3月

阿賀町

計画策定の背景と基本的な考え方

【町の公共交通の現状と課題】

阿賀町の現状	課題
【社会状況】	①広く分散している人口をカバーできる公共交通網の形成
・人口減少、少子高齢化の進行	②移動ニーズに合わせた運行頻度の見直し
・広く分布している集落	③行政・交通事業者・住民の三者が連携した公共交通の実現
【交通】	④町内中心部の回遊性を高める移動手段の確保
・放射状に運行している非効率なバス	⑤町外への移動ニーズに応じた公共交通の実現
・バス利用者の減少によって行政負担額が増加	⑥町外から阿賀町へ来る人にあわせた移動手段の確保
・無料の福祉バスの運行	⑦誰もが使いやすいわかりやすい公共交通の実現

平成 29 年度「阿賀町地域公共交通網形成計画」の策定

公共交通施策の今後の取り組みの方法を示した公共交通のマスタープランを策定

基本的な方針

【将来像】

この地に暮らす人たちが一緒になって築く、だれもが安心して暮らせるまち

【計画の目標】

- 町内の移動ニーズに合わせた公共交通の実現
- 町外への移動手段の維持確保
- 公共交通の利用促進・利便性向上

【公共交通の活性化及び再生に向けた取組の方向性】

- ①町外への移動ニーズに対する移動手段の確保
 - ・町外への移動手段を確保すると共に、鉄道駅へ公共交通でアクセスしやすくなるようにダイヤなどの見直しを実施します。
- ②路線バス、福祉バス、スクールバスの統合による運行の効率化
 - ・別々に運行している路線バス、福祉バス、スクールバスを1つに統合し、無償の福祉バスを有償化することで、運行経費の削減を実施します。
- ③中心部の回遊性の向上
 - ・町中心部の施設を循環するバスを昼間の時間帯に導入することによって、公共交通による高齢者の移動の利便性を高め、まちなかの活性化を目指します。
- ④関心を持ってもらう工夫
 - ・全ての住民の方へ公共交通に対する興味・関心を持ってもらうために、わかりやすい情報提供、商業施設との連携による割引サービスの提供など、興味・関心を持ってもらう工夫をします。

公共交通網の整備方針

○朝・夕方のバスの行き先は、これまでと同様に、三川地域内は三川駅、三川小・中学校行きとし、その他の地域は、津川駅を基本とします。ただし、上川地域（上川支所以南）と鹿瀬地域（日出谷駅以東）は、乗り換え（上川地域は上川支所、鹿瀬地域は日出谷駅）が必要となる可能性があります（図1）。

○日中は、郊外部を予約制の運行か、曜日限定の運行（現福祉バスと同等の運行）に変更します。行き先は、三川地域は、三川駅・三川小・中学校とし、その他の地域は、県立津川病院、やまぶきの里を基本とします。また、町内中心部の施設を循環するバスを昼間の時間帯に導入することによって、公共交通による高齢者のまちなかの移動の利便性を高めます（図2）。

図1 朝・夕方（通勤・通学時）の公共交通網図（予定）

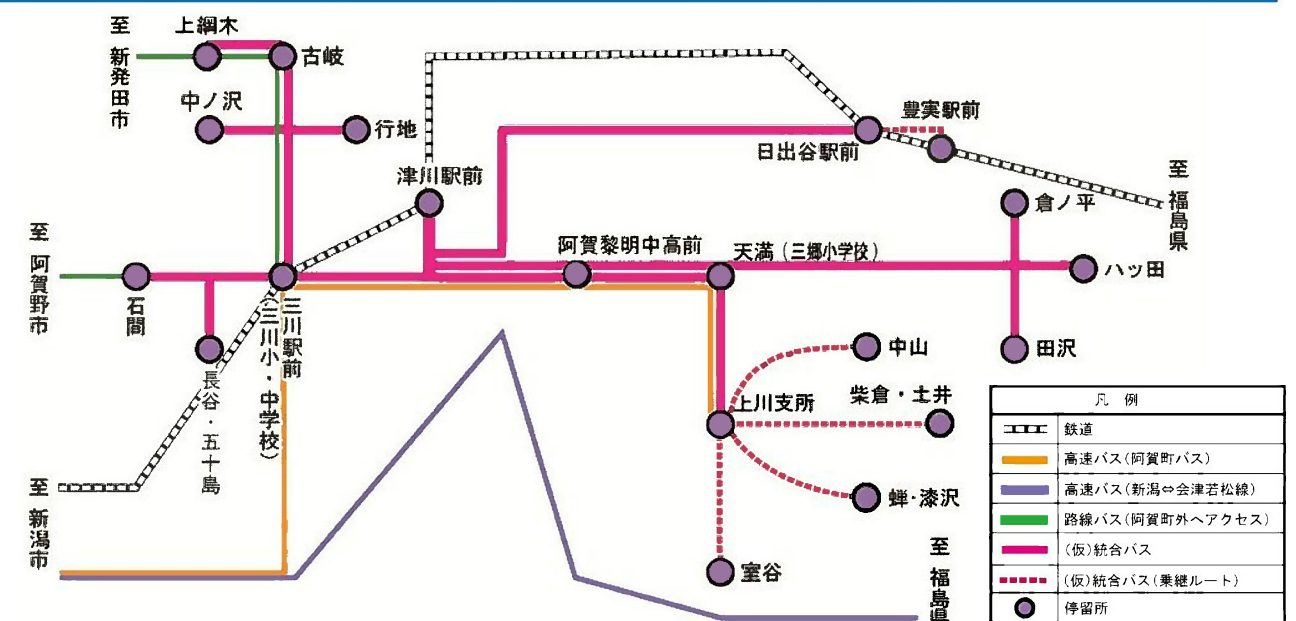
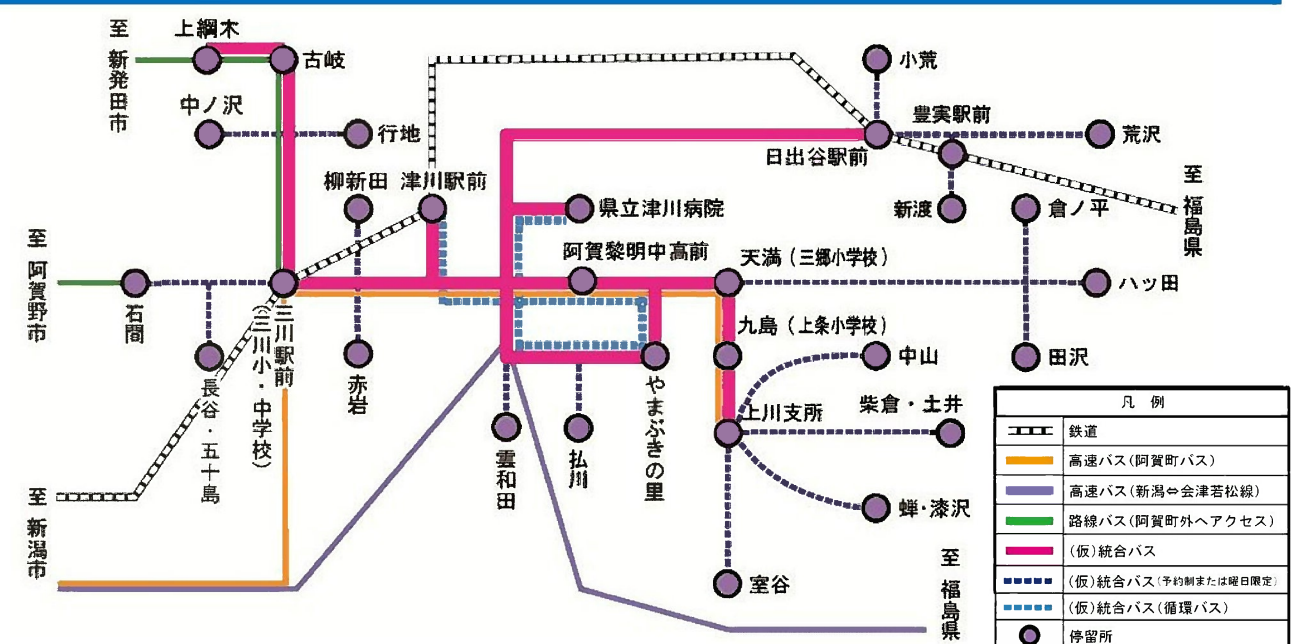


図2 日中の公共交通網図（予定）



【施策実施のスケジュール】

施策・事業		実施内容とスケジュール	実施主体
施策 1 町内バスの運行見直し	事業 1-1 路線バス、福祉バス、スクールバスの統合路線化	平成 30 年度：交通事業者・住民・学校・PTAとの協議、スクールバス混乗実証実験実施 平成 31 年度：スクールバス混乗本格実施 平成 32 年度：福祉バス有償化実証実験の実施 平成 33 年度以降：本格実施（運行内容は適宜見直しを実施）	阿賀町、交通事業者、住民、学校、PTA
	事業 1-2 バスの運行本数や時刻の見直し	平成 30 年度：交通事業者・住民との協議、スクールバス混乗実証実験に合わせた運行本数・時刻の見直し実施 平成 31 年度以降：予約制の運行や町内循環バスの導入などと合わせて時刻の変更や廃止を実施	
施策 2 地域特性に応じた運行	事業 2-1 予約制の運行の導入	平成 31 年度：交通事業者・住民との協議、実証実験の実施 平成 32 年度以降：本格実施	阿賀町、交通事業者、住民
施策 3 町の中心部の施設立地に合わせた運行	事業 3-1 町内中心部での循環バスの導入	平成 31 年度：交通事業者・住民との協議、運行内容の確定 平成 32 年度：実証実験の実施 平成 33 年度以降：本格実施	阿賀町、交通事業者、住民
施策 4 近隣自治体への移動需要に合わせた運行	事業 4-1 広域交通維持事業（県内都市間高速バス） [連携中枢都市圏連携事業]	平成 30 年度：運行内容変更後の利用実績の確認、利用者ニーズ調査 平成 31 年度以降：利用者のニーズを反映しながら運行の見直し	阿賀町、阿賀野市、新発田市、交通事業者
	事業 4-2 鉄道運行の維持のための要望活動の継続	平成 30 年度以降：要望活動を継続実施（毎年 1 回実施）	
	事業 4-3 近隣自治体を結ぶ路線の見直し	平成 30 年度以降：阿賀野市、新発田市と協議し、運行内容の見直しを実施	
施策 5 観光客向けの移動手段の確保	事業 5-1 町外から阿賀町へ来る人の移動手段の確保	平成 32 年度：交通事業者・観光協会との協議 平成 33 年度以降：臨時バスの運行の実施	阿賀町、観光協会、交通事業者
	事業 5-2 観光パンフレット等との連携	平成 32 年度：観光協会との協議、パンフレットの作成 平成 33 年度以降：パンフレットの配布の実施	
施策 6 公共交通利用のきっかけづくり	事業 6-1 住民を含めた公共交通についての協議の実施	平成 30 年度以降：区長会の中で公共交通についての議論を実施（各地域について毎年 1 回は実施）	阿賀町、交通事業者
	事業 6-2 公共交通への転換のための広報活動の実施	平成 30 年度以降：住民全体、学校、地域でそれぞれ毎年 1 回は実施 平成 33 年度：公共交通マップの作成（事業 9-3 と連携）	
	事業 6-3 高齢者バス回数券購入費補助の継続	平成 30 年度以降：実績を確認しながら必要に応じて補助の見直しを実施（実績の確認は毎年実施）	
	事業 6-4 学生定期券購入費補助の継続	平成 30 年度以降：実績を確認しながら必要に応じて補助の見直しを実施（実績の確認は毎年実施）	
施策 7 地域の特色がある公共交通の運行	事業 7-1 地域と連携した公共交通の運行	平成 33 年度：交通事業者・商工会・保育園・小学校との協議 平成 34 年度以降：事業の実施	阿賀町、交通事業者、住民、商工会
施策 8 バスの利用環境の整備	事業 8-1 バス停上屋やイスの整備	平成 33 年度：バスの利用状況の調査 平成 34 年度：整備するバス停の確定、交通事業者との協議 平成 35 年度以降：整備の実施	阿賀町、交通事業者
	事業 8-2 町内施設を活用した待合所の整備	平成 33 年度：日出谷駅、阿賀町役場、カラオの整備 平成 34 年度：民営施設への協力要望 平成 35 年度：民営施設の整備の実施	
	事業 8-3 乗降しやすいバスの導入	平成 33 年度：低床バスの導入（事業 3-1 で導入する循環バス） 平成 34 年度以降：その他の区間で適宜低床バスの導入	
施策 9 わかりやすい情報提供	事業 9-1 停留所の設置	平成 30 年度：停留所の設置箇所の確定 平成 31 年度：必要に応じて住民や民間施設への要望 平成 32 年度以降：路線バス、福祉バス、スクールバスの混乗に合わせて停留所を設置	阿賀町、交通事業者
	事業 9-2 マイ時刻表の作成	平成 32 年度：マイ時刻表の記載内容の検討 平成 33 年度以降：事業実施	
	事業 9-3 公共交通マップの作成	平成 32 年度：公共交通マップの記載内容の検討 平成 33 年度以降：事業実施	
施策 10 鉄道の維持・充実	事業 10-1 鉄道駅のバリアフリー化の要望活動の継続	平成 30 年度以降：要望活動を継続実施（毎年 1 回実施）	阿賀町

平成29年度阿賀町バス利用状況

(1) 停留所別利用状況

調査期間：平成29年10月2日(月)～3月30日(金)【120日間】

延乗車人数：1,593人 前年度：1,860人 対前年度比：85.6%

1日平均乗車人数：13.3人 前年度：15.5人 対前年度比：85.8%

1便平均乗車人数：6.6人 前年度：3.9人 対前年度比：169.2%

【目標値】：8.0人 達成率：82.5%

阿賀町→新潟大学病院

(人)

発車時刻	乗	降	計	上川支所前	両郷	九島	天満	津川営業所	津川原町	津川インター前	三川駅前	下越病院	新潟市民病院	新潟中央病院	がんセンター	市役所前	新潟大学病院
月～金 7:30	H29.10 ～ H30.3	930	930	58	25	14	22	144	429	110	128	79	222	42	205	72	310

新潟大学病院→阿賀町

発車時刻	乗	降	計	新潟大学病院	市役所前	がんセンター	新潟中央病院	新潟市民病院	下越病院	三川駅前	津川インター前	津川原町	津川営業所	天満	九島	両郷	上川支所前
月～金 14:05	H29.10 ～ H30.3	663	663	275	40	150	29	117	52	79	60	370	75	10	13	17	39

(2) 月別利用状況

